

2018年5月2日
西日本新聞社

空き駐車場の共有事業「アキッパ」と本社が提携

駐車場のシェアリングサービスを運営する「a k i p p a」（アキッパ、大阪市）と西日本新聞社は、福岡県内における事業拡大や駐車場管理に関するパートナー提携を結んだ。提携は4月27日付。

アキッパは企業や個人が所有する駐車場や空きスペースをインターネット上で登録し、時間貸しの駐車場として提供するサービス。スマートフォンのアプリなどで日時を予約して駐車場を使うことができ、持ち主に収入が入る仕組み。

同事業は個人などが持つ資産を社会全体で共有し活用を目指す「シェアリングエコノミー」（共有型経済）の一つ。予約制のため、イベント開催時の渋滞緩和への効果も期待される。

西日本新聞社は代理店として駐車場の登録やサービスの営業を担当する。アキッパは2009年設立のベンチャーで、登録する駐車場拠点数は、全国で累計約1万9000カ所。アキッパの金谷元気社長は「大阪、東京に続いて福岡エリアを強化したいと考えていた。福岡の渋滞解決に貢献したい」としている。

以上